# 第2章 調査の結果

1 回答者の属性(性別、年齢、居住市町村)

問1 あなたの性別と年齢及びお住まいの地域を教えてください。 (回答数/1,052)

(1) 性別

男性, 40.8% 女性, 59.2%	0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%
男性,40.8% 女性,59.2%			I	1	_	I	1	1	I	I	
		I	男性, 40.8%	6	1	I	I	女性, 59.2%	6	1	1

(2)年齢層

0	0% 10%	20% 3	0% 40%	50%	60%	70%	80% 90	0% 100%
18	3~20歳, 13.1%	21~23歳, 16.7%	24~26歳, 15	$5.5\%$ $27\sim2$	29歳, 17.8%	30~32歳, 16.3	% 33~35点	支, 20.6%

(3)居住地域

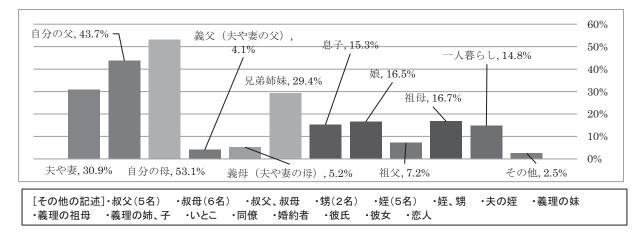
09	% 10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%
ľ	東青, 24.6	%	西北, 9.5%	中南, 2	2.6%	上北, 16.0	0% <sup> </sup> 下北	, 5.0%	三八, 22.29	%

問2 あなたが卒業した中学校は、どこにありましたか。次の4つの中から1つだけOをつけてく ださい。 (回答数/1,052)

0	% 10	0%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%
									海外, 0.1%		答,0.2%
		1									
		青森県	具内, 92.6%		青森県	県以外の東北	15県, 3.5%		東北以外	トの都道府県	₹, 3.6%

県内の中学校を卒業したのは全体の 92.6%であった。青森県以外の中学校を卒業したのは、全体の 7.2%であった。回答者は県内に在住しているので、全体の 7.2%が I ターン者である。( p 30 を参照)

# 問3 現在、あなたはどなたと同居していますか。一緒に暮らしている方すべてに〇をつけてくだ さい。一人暮らしの方は、「11.一人暮らし」に〇をつけてください。 (回答数/1,052)

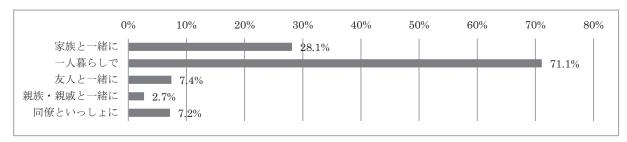


# 問4 あなたは、これまでに青森県以外の都道府県で1年以上生活したことがありますか。いずれかに〇をつけてください。 (回答数/1,052)

00	% 1	0% 2	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%
		はい,38	3.5%				しいえ	2,61.5%			

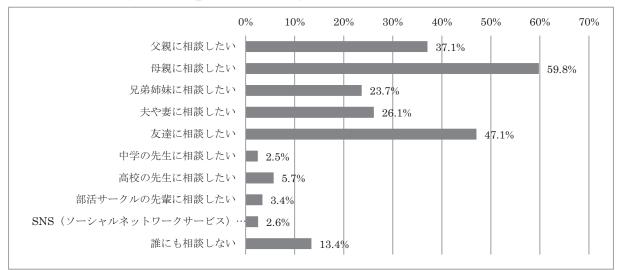
全体の 38.5%が、県外で1年以上生活した経験があることがわかった。回答者は県内に在住しているので、全体の 38.5%が、U・I・Jターン者である。(※U・Jターン者 31.4%)

# 問4-① 問4で「はい」と答えた方にお聞きします。青森県以外の都道府県で1年以上生活したと きは、どなたと一緒でしたか。あてはまるものすべてに〇をつけてください。 回答数/405



県外で1年以上生活した経験のある若者のうち、最も多いのが「一人暮らし」の 71.1%で、次いで「家族と 一緒に」の 28.1%であった。(※U・Jターン者の一人暮らしは、全体の 63.5%)

# 問5 あなたは、将来の夢や就きたい職業について相談するとしたら、誰に相談したいですか。あ てはまるものすべてにOをつけてください。 (回答数/1,052)

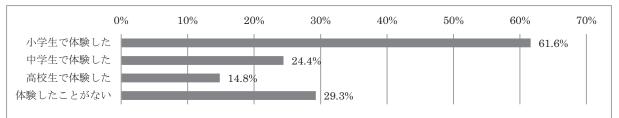


将来の夢や就きたい職業について相談したい相手は、最も多いのが「母親」で 59.8%、次いで「友達」が 47.1%、 「父親」が 37.1%である。また、「誰にも相談しない」が 13.4%であった。

# 2 若者の学習・生活体験

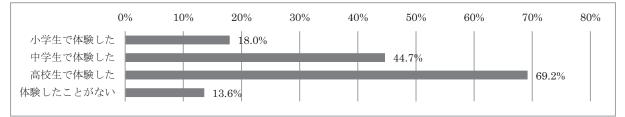
問6 あなたの小学生・中学生・高校生のときのことについてお聞きします。以下のことを体験した ことがありますか。それぞれの項目ごとにあてはまるものすべてにOをつけてください。

<学校行事以外で、野外で炊事したりテントに泊まったりしたことがある> (回答数/1,052)



小学生での体験が最も多く 61.6%、「体験したことがない」は全体の 29.3%と 3 割近くの若者は野外で炊事したりテントに泊まったりしたことがない。

## <興味のある仕事について、本やインターネットで調べたことがある>



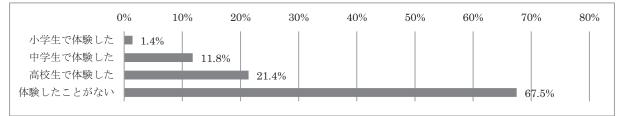
仕事について調べた経験については、「高校生で体験した」が最も多く 69.2%、次いで「中学生で体験した」 が 44.7%となっており、年代が上がるにつれて、仕事についての興味関心が高くなっている。

#### <職場見学や職場訪問をしたことがある>

	0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%
小学生で体験 中学生で体験 高校生で体験 体験したことが	した		.6%	31.29	%	50.1%	57.0%

職場見学や職場訪問については、「中学生で体験した」が最も多く 57.0%、次いで「高校生で体験した」が 50.1% となっており、「体験したことがない」12.6%を除くと 9 割近くが体験している。

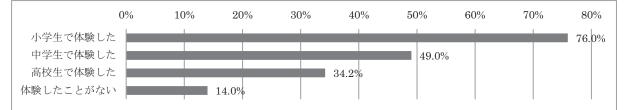
#### <4日以上の職場体験やインターンシップを体験したことがある>



長期の職場体験やインターンシップについては、全体の67.5%が体験したことがないと回答している。

### <地域の祭りに参加したことがある>

## (回答数/1,052)



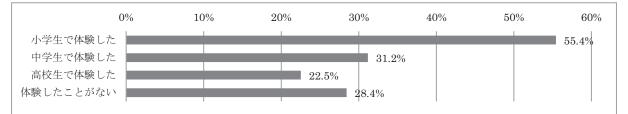
地域の祭りには、全体の 76.0%が小学生で体験しているが、年代が上がるにつれて、参加する割合が低くなっていく傾向にある。

## <地域のイベントに参加したことがある>

(	)%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%
小学生で体験した								63.8%
中学生で体験した					34.8%			
高校生で体験した				25.9%				
体験したことがない				25.7%				

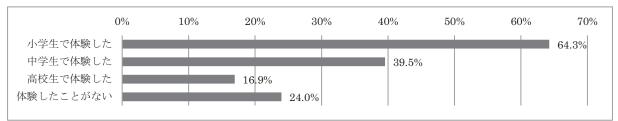
地域のイベントには、地域の祭りと同様に年代が上がるにつれて、参加する割合が低くなっていく傾向にある。 「体験したことがない」と回答した若者は、25.7%と4人に1人は参加したことがないと回答している。

### <地域のイベントの手伝いやゴミ拾いなどに参加したことがある>



地域のイベントの手伝いやゴミ拾いには、地域の祭りやイベントと同様に年代が上がるにつれて、参加する割 合が低くなっていく傾向にある。小学生で体験したのは55.4%と地域の祭りと比較して20ポイント程度低くなっ ている。また、「体験したことがない」と回答した若者は、28.4%と地域のイベントと同様に4人に1人は参加 したことがないと回答している。

### <有料の学習塾やピアノ教室などの習い事に通ったことがある>



地域の祭りやイベントと同様に、有料の学習塾や習い事に通ったことがある若者は、年代が上がるにつれて、 通う割合が低くなっていく傾向にある。また、「体験したことがない」若者は全体の 24.0%であった。

# 3 若者の自己肯定感と自己有用感

# 問7 あなた自身のことについてお聞きします。あなたは、以下のそれぞれについて誇りを持っていますか。あてはまるものをそれぞれ1つ選んで〇をつけてください。 (回答数/1,052)

# <明るさ>

0%	% 10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%  100%
	7 21.8%	1	I	イ 37.5%	1	1	ウ 26.9%	Ď	工 13.6%
T:	:誇りを持っている	イ:どちらか	といえば、語	りを持ってい	る ウ:どち	らかといえば	、誇りを持って	いない エ	:誇りを持っていない

## くやさしさ>

0%	6 10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%
									無[	回答, 0.1%
	r	27.2%			イ 48.	.9%		ウ	17.3% I	

<忍耐力、努力家>

0%	10	9% 20	)% 3	0% 40	)%	50%	60%	70%	80%	90% 100%	
	P	24.4%		1	14	40.1%	I	ウ	24.5%	エ 10.7%	

## <慎み深い>

0	%	10%	% 20	)% 30	0% 40	)% 50	)% 60	9%	70%	80%	90%	~  100% 無回答, 1.0%
	T	11.3%	6 6	イ	39.2%		1 1	ウ	36.1%	1	т	12.5%

<賢さ、頭の良さ>

0%	10%	20	)%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%
	_		1			1					<u>無回答,</u> 0.4%
P	7.0%	イ	27.6%	I	I	ゥ 3	8.3%	1	Ĩ	26.7%	

<まじめ>

0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90% 100% 無回答, 0.2%
	ア 22.	8%		イ 44	4.2%	1	ー ウ	22.1%	工 10.7%

<正義感>

0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90% 100	%
		_							無回答, 0.8	3%
	7 20.2%	Í	I	イ 44.4	-%	1	ウ	25.8%	工 9.3%	

<決断力、意志力>

0	%	10%	20	%	30%	40%	6 50	)%	60%	70	% 8	30%	90	)%	100%
						1		1	1					無回谷	<u> </u>
	ア	13.8%	1	イ	27.5%	I		ウ	39.0%			I	I	19.4%	

<体力、運動能力>

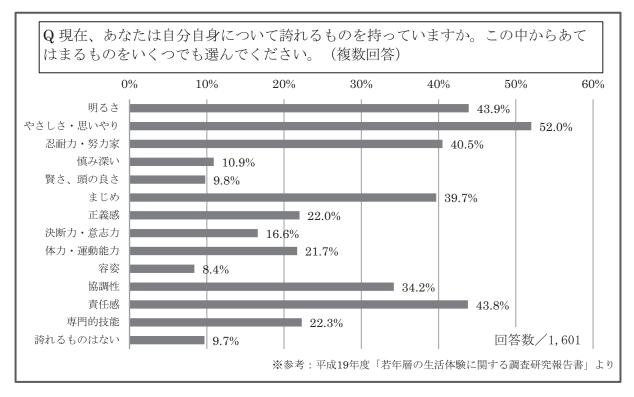
0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%
		1	1					1		無回答, 0.3%
	7 14.6%	イ	27.5%	1	ウ	30.8%		エ 2	6.8%	
ア:誇	豹を持っている	イ:どちらか。	といえば、誇	のを持っている	ウ:どちら	かといえば、	誇りを持って	いない エ:	誇りを持っ	っていない

く容姿>

0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90% <u>100%</u> 無回答, 0.2%
T 5.8	8% イ	27.6%	I	I	ウ 36.2	2%	l	Ĩ	30.2%

自分自身に誇りを持っているかについて、「誇りを持っている」と「どちらかといえば、誇りを持っている」 を合わせると、「やさしさ」については4人に3人の若者が誇りを持っている。「まじめ」と「正義感」につい ては、3人に2人の若者が誇りを持っている。「明るさ」と「忍耐力、努力家」については、6割程度の若者が誇 りを持っている。「慎み深い」については、2人に1人の若者が誇りを持っている。「賢さ、頭の良さ」と「容姿」 については、3人に1人の若者が誇りを持っている。

平成19年度「若年層の生活体験に関する調査研究報告書」のデータと比較すると、回答方法(複数回答)の違いがあるものの、「やさしさ」や「明るさ」、「まじめ」に誇りをもっている若者が、約10年前と比較しても多いことがわかる。また、「賢さ、頭の良さ」と「容姿」についても、同様に誇りを持っていない若者が多いことがわかる。



# 問8 あなた自身と家族との関わりについてお聞きします。以下のことを、どの程度考えますか。それぞれの項目についてお答えください。 (回答数/1,052)

<自分は、家族の役に立っている>

0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90% 4#F0	100% 回答, 0.2%
										回谷, 0.2%
非常	に思う.23.5%	6	やや思	くう、45.9%・		あまり	思わない,2	5.8%	全く思われ	よい, 4.7%

## <自分は、家族から信頼されている>

0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%
									無回	]答, 0.2%
非	常に思う,27.4	:%	PP	·思う, 49.4%	6	あま	り思わない	, 19.7% -	全く思わ	ない, 3.3%

## <自分は、家族から頼りにされている>

0	%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%
										無	回答, 0.2%
	非常に	思う, 29.8	%	P.P.F	思う, 49.0%		あま	り思わない,	17.8%	全く思わ	っない, 3.1%

# <自分は、家族と一緒にいると安心できる>

0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%
									無	回答, 0.2%
非常	に思う,51.5	5%		إجرج	思う, 36.2%	- あま	り思わない	, 9.5% —	全く思わ	かない, 2.6%

## <自分は、家族を信頼している>

0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%
									無	回答, 0.3%
		非常に思う,	, 55.1%	2	や思う,34	.2% —	あまり思わ	ない, 8.0%・	全く思わ	ったい, 2.4%

## <自分は、家族に支えられている>

0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%
									無回	回答, 0.4%
	非常に思	う, 67.3% <b>-</b>		Þ.	や思う,27.2	2%	まり思わな	い, 4.1% -	全く思わ	ない, 1.0%

# <自分は、家族から「ありがとう」と言われることがある>

0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%
									無	回答, 0.4%
	非常)	こ思う,42.9%	%		やや思う,40	).0% <mark>/</mark> ð	まり思わない	∩, 14.0% <del>-</del>	全く思わた	よい, 2.8%

## <自分は、家族からほめられることがある>

0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%
									無回	答,0.7%
	非常に思う	, 32.5%		やや思う,41	.2%	あまり思れ	っない, 20.49	%	全く思わな	い, 5.2%

## <自分は、家族の手伝いをすることがある>

0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%
									無	回答, 0.4%
	非常に思う	5,38.0%		44	思う,44.6%	6 <b>b</b>	まり思わない	∩, 14.4% <del>-</del>	全く思れ	っない, 2.6%

#### <自分は、家族が納得するような意見を言うことがある>

0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%
									無回	回答, 0,2%
非常	に思う,24.1	.%	gg.	思う,46.0%	<u>,</u> _	あま	り思わない,	23.7%	全く思わな	い, 6.0%

自分自身と家族との関わりについては、「非常に思う」と「やや思う」を合わせると、9割以上の若者が「家族 に支えられている」と回答している。「家族と一緒にいると安心できる」と「家族を信頼している」については、 8割以上の若者が思うと回答している。「家族から信頼されている」、「家族から頼りにされている」、「家族か らほめられることがある」、「家族が納得するような意見を言うことがある」については、7割以上の若者が思う と回答している。「家族の役に立っている」については、6割以上の若者が思うと回答している。

ただし、「非常に思う」のみの回答率を見ると、「家族の役に立っている」、「家族から信頼されている」、 「家族から頼りにされている」、「家族が納得いくような意見を言うことがある」については、「家族に支えら れている」が5割以上の回答率に対して、3割以下となっている。

# 問9 あなた自身と学校、職場、地域など、周囲の人との関わりについてお聞きします。以下のこと を、どの程度考えますか。それぞれの項目についてお答えください。 (回答数/1,052) <自分は、周囲の人の役に立っている>

0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%
										回答, 0.1%
非常)	こ思う, 10.4	%	إجح	思う,48.1%		あま	り思わない,	34.4%	全く思わ	ない, 7.0%

### <自分は、周囲の人から信頼されている>

0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%
										回答, 0.2%
非常に	思う.11.0%	, )	現今今	5,52.1%		あまり	) 思わない. :	31.0%	全く思わフ	ない、5.7%

#### <自分は、周囲の人から頼りにされることがある>

0% 60% 70%10% 20%30% 40%50%80% 90% 100% <u>」 無回答, 0</u>,3% やや思う、52.8% 非常に思う,15.9% あまり思わない, 25.8% 全く思わない, 5.3%

### <自分は、周囲の人と一緒にいると安心できる>

00	% 1	0%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%
ł											無回答, 0.2%
ł	非常に思う	5, 16.9%		やや思	5,46.2%		あま	り思わない,2	9.4%	全く思わ	っない, 7.3%

#### <自分は、周囲の人を信頼している>

0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%
									無回	答,0,2%
非常い	こ思う,20.29	%	4A	思う,49.0%	6	あま	り思わない,	, 24.8%	全く思わ	ない, 5.8%

## <自分は、周囲の人に支えられている>

回答数/1,052

0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%
										回答, 0.2%
	非常に思う,38.5	3% ]		44	思う, 47.9%	あま	り思わない,	10.8%	全く思わた	えい, 2.8%

## <自分は、周囲の人から「ありがとう」と言われることがある>

0	%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%
										無回答	\$, 0.2%
	非常に思	よう,27.0%		やや思	う, 51.0% <b>-</b>		あまり	思わない,18	3.2% - 4	とく思わない	, 3.6%

## <自分は、周囲の人からほめられることがある>

0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%
h									無	回答, 0.3%
	非常に思う, 18.2	2%	, p.p.	思う, 50.1%		あまり	り思わない	, 26.3%	全く思わ	かない, 5.1%

## <自分は、周囲の人の手伝いすることがある>

0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%
									一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一	间答, 0.2%
北堂	に思う,25.8	3%	कुक	思う, 53.8%		あま	り思わない,	16.5%	全く思われ	÷۷۷, 3.7%

## <自分は、周囲の人の手伝いすることがある>

0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90% 無	100% 《回答, 0.2%
非常	こ思う, 12.89	%	PP.	思う,41.7%		あまり	思わない, 3	5.7%	全く思わ	ったい, 9.5%

自分自身と周囲との関わりについては、「非常に思う」と「やや思う」を合わせると、8割以上の若者が「周囲 の人に支えられている」と回答している。「周囲の人からありがとうと言われることがある」と「周囲の人の手 伝いをすることがある」については、7割以上の若者が思うと回答している。「周囲の人から信頼されている」、 「周囲の人から頼りにされることがある」、「周囲の人と一緒にいると安心できる」、「周囲の人を信頼してい る」、「周囲の人からほめられることがある」については、6割以上の若者が思うと回答している。「周囲の人の 役に立っている」と「周囲の人の手伝いすることがある」については、5割以上の若者が思うと回答している。

# 4 若者の職業観と就業意識

# 問 10 あなたは、仕事をする上で次のような事柄はどれくらい大切だと思いますか。それぞれの項 目についてお答えください。 (回答数/1,052)

# <自分の個性や能力・資格が生かせること>

0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%
									無	回答, 0.4%
2	- ても大切, 55	.5%	多少	は大切, 39.0	9%	あき	まり大切でに	はない,4.4%	大切では	ない, 0.8%

## <自分のやりたい仕事であること>

0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%
									無	回答, 0.4%
とて	も大切,50.7	7%	多少	は大切, 38.4	1%	あまり	) 大切ではな	cv, 8.8%	一大切では	tない, 1.7%

## <仕事を通して資格や技術が身につけられること>

0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%
									無	回答, 0.5%
とても	5大切, 44.29	%	多少	は大切, 42.	.1% —	あまり	大切ではない	), 11.4% ·	大切では	ない, 1.8%

# <職場の雰囲気や人間関係が良いこと>

0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%
									無	回答, 0.5%
. ج	ても大切, 83.	7%		多少は大切	, 14.4% —	あま	り大切では	ない, 1.0%	一大切では	ない, 0.6%

## <給料が高いこと>

0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%
									無	〔回答, 0.4%
とても	5大切, 46.8%	<b>"</b>	多少に	は大切, 44.29	%	あまり大	、切ではない	v, 7.9% —	大切では	ない, 0.8%

# <休みが多いこと>

0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%
									無	回答, 0.5%
とて	こも大切,36.1	%	多少し	は大切, 48.6	%	あまりナ	大切ではない	, 13.0% –	大切では	ない, 1.8%

# <残業や休日出勤がないこと>

0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%
									無	回答, 0.5%
とても	も大切, 34.2%	ó	多少。	は大切,46.0	%	あまり	大切ではな	N, 15.9%	大切では	ない, 3.4%

#### <家庭や趣味と両立できること>

0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%
									無	(1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)
とて	も大切, 58.7	%	多少	は大切, 33.5	2%	あまり	大切ではな	v, 6.3% –	一大切では	ない, 1.4%

<通勤しやすい場所であること>

#### 回答数/1,052

0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%
									無	回答, 0.3%
とて	も大切, 49.9	%	多少(	は大切,41.2	%	あまりナ	、切ではない	). 7.5% —	大切では	ない, 1.1%

## <長い期間にわたって安定して働けること>

0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%
									無[	回答, 0.4%
とて	も大切, 73.7	%	多少日	は大切, 21.9	9%	あま	り大切では	tない, 3.1%	- 大切では	ない, 1.0%

#### <有名な会社であること>

0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%
			1 1 1 1						無回	答, 0.5%
Ę	:ても大切, 5.7%	~多少は大	切, 23.3%		あまり大切	Jではない, 4	49.3%	大切ではな	¢۷ <sup>)</sup> , 21.2%	· · · ·

#### <働く会社に将来性があること>

0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%
									無	回答, 0.6%
とて	も大切, 38.4	.% _/	多少	は大切,48.	8%	あまり	大切ではな	い, 10.3% -	大切では	ない, 2.0%

## <将来、独立して自分で事業が起こせること>

0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%
									無	回答, 0.4%
とて	も大切, 5.9%	6 多少!	は大切, 19.2	% 2	あまり大切	ではない, 43.	8%	大切下	ではない, 30	).7%

#### <他の人や社会のために役立つ仕事であること>

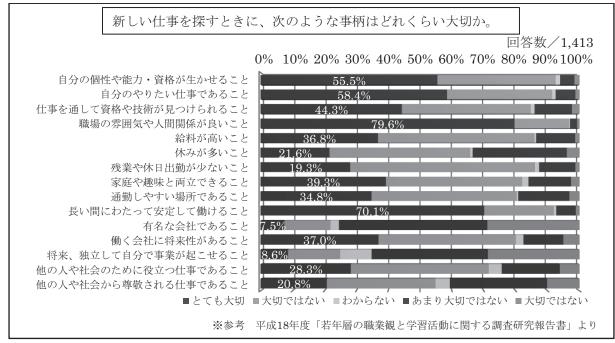
0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%
										〔回答, 0.4%
52	ても大切, 38.	4%	多少	は大切,44.'	7% —	あまり大切	Jではない, 1	13.4%	大切ではな	えい、3.1%

## <他の人や社会から尊敬される仕事であること>

0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%
									無	回答, 0.4%
とてす	も大切, 24.99	%	多少	は大切, 42.8	3%	あまり大	:切ではない	, 25.7%	大切では	ない, 6.3%

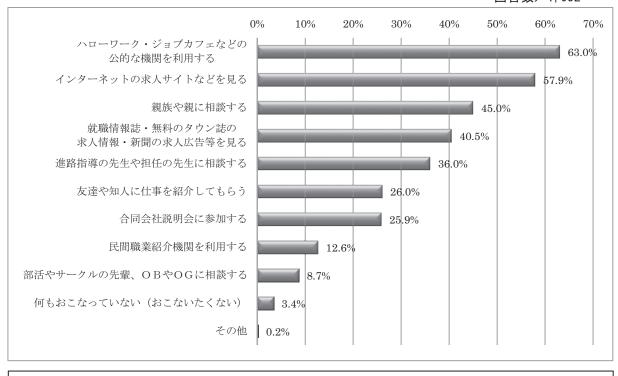
仕事をする上で大切だと思うことについては、「とても大切」と「多少は大切」を合せると、9割以上の若者が 「自分の個性や能力・資格が生かせること」、「職場の雰囲気や人間関係が良いこと」、「給料が高いこと」、 「家庭や趣味と両立できること」、「通勤しやすい場所であること」、「長い期間にわたって安定して働けるこ と」が大切であると回答している。「自分のやりたい仕事であること」、「仕事を通して資格や技術が身につけ られること」、「休みが多いこと」、「残業や休日出勤がないこと」、「働く会社に将来性があること」、「他 の人や社会のために役立つ仕事であること」については、8割以上の若者が大切であると回答している。

「有名な会社であること」や「将来、独立して自分で事業が起こせること」については、大切であると回答した割合は3割以下となった。

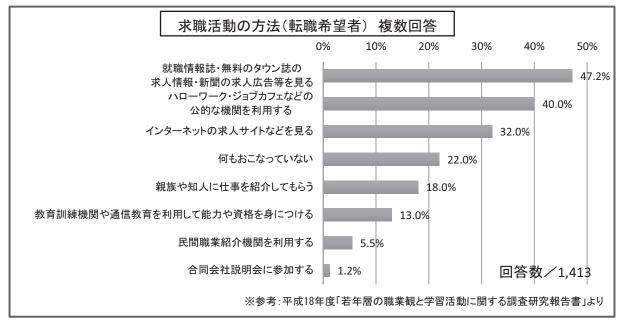


平成18年度「若年層の職業観と学習活動に関する調査研究報告書」のデータと比較すると、「給料が高いこと」、「休みが多いこと」、「残業や休日出勤がないこと」、「家庭や趣味と両立できること」、「通勤しやすい場所であること」の項目において、「とても大切」と答えた若者の割合が10%以上高くなっている。10年前と比較すると、職場環境の充実を望んでいることが窺える。

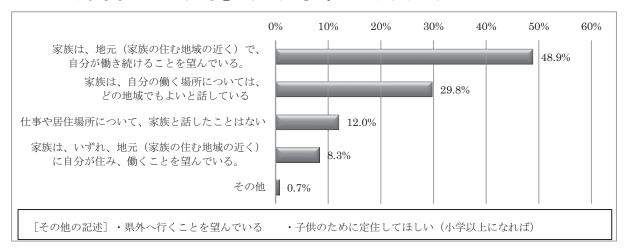
# 問 11 あなたは、職業を選択する際に次のことをおこなったことがありますか。これから仕事を探 そうとする人については、おこなってみたいことがありますか。あてはまるものすべてにOを つけてください。



[その他の記述]・実際働いている人に話を聞く・自分で職場見学に行って目で見て確かめた・自分で勤めたい職場に連絡 を取り、体験させてもらったり、自己 PR 書を渡して、求人情報をもらったりした。 ・インターシップ実習 職業を選択する際に行ったこととして、「ハローワーク・ジョブカフェなどの公的な機関を利用する」が 63.0%、 次いで「インターネットの求人サイトなどを見る」が 57.9%、「親族や親に相談する」が 45.0%であった。平成 18 年度「若年層の職業観と学習活動に関する調査研究報告書」(下記参照)のデータと比較すると、「インター ネットの求人サイトなどを見る」で 25 ポイント上昇、「何もおこなっていない」に関しては 19 ポイント下降し ている。10 年前と比較すると、所業選択のための情報をより積極的に収集していることが窺える。



問 12 あなたのご家族は、あなたの働く場所について、どのように話していますか。次の中からあてはまるもの1つだけにOをつけてください。 (回答数/1,052)



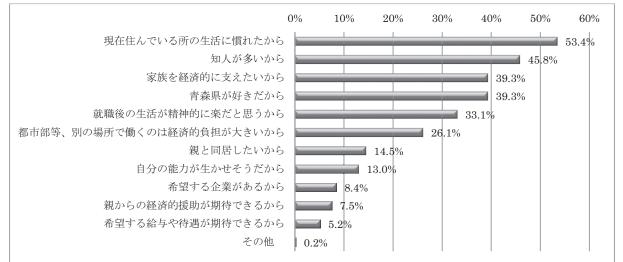
働く場所について家族は、「地元で働き続けることを望んでいる」が 48.9%、次いで「どの地域でもよいと話 している」が 29.8%であった。

# 問 13 あなたは、青森県内で働くことや働き続けることに関心はありますか。あてはまるもの1つ だけに〇をつけてください。 (回答数/1,052)

0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90% 無回答, (	$100\% \\ 0.5\%$
	積極的	に働きたい,	42.4%		条件が合えば	働きたい,	47.6%	あまり働き	たくない, 9.5%	2/0

# 問 13-① 問 13 で「1 積極的に働きたい」「2 条件が合えば働きたい」を選んだ方にお聞きしま

す。青森県内で働きたい理由について、次の中からあてはまるものすべてに〇をつけてくださ

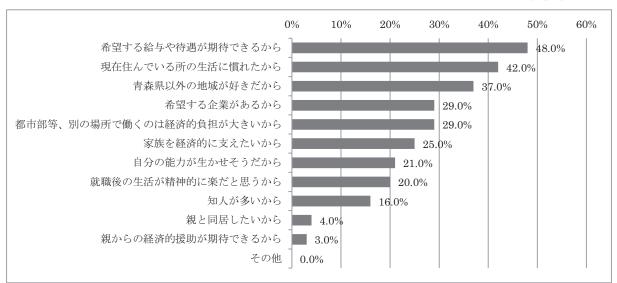


い。 (回答数/947)

青森県内で働くことに関心があるかについては、「積極的に働きたい」と「条件が合えば働きたい」を合わせると、9割の若者が働きたいと回答している。その理由については、「現在住んでいる所の生活に慣れたから」が 53.4%で最も多く、次いで「知人が多いから」が45.8%、「家族を経済的に支えたいから」と「青森県が好きだから」が 39.3%であった。

# 問 13-② 問 13 で「3 あまり働きたくない」を選んだ方にお聞きします。青森県以外の場所で働き たい理由について、次の中からあてはまるものすべてに〇をつけてください。

回答数/100



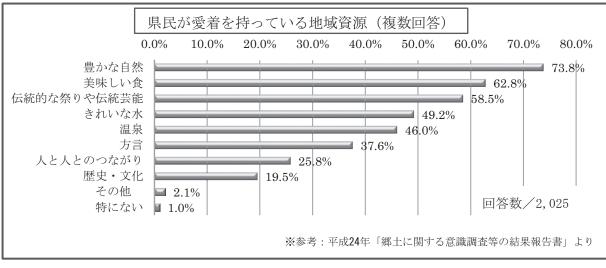
青森県内で働くことに関心があるかについては、およそ1割の若者が「あまり働きたくない」と考えている。 その理由については、「県外だと希望する給与や待遇が期待できるから」が48.0%と最も多く、次いで「現在住 んでいる所の生活に慣れたから」が42.0%、「青森県以外の地域が好きだから」が37.0%であった。

# 5 若者の青森県に対するイメージ

# 問 14 青森県について、どのようなイメージを持っていますか。それぞれの項目についてお答えく ださい。 (回答数/1,052)

# <豊かな自然環境に恵まれている>

0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90% 全く思わな	100% ۱۰, 0.7%
		j j	「常に思う、	63. 9% <sup>l</sup>			や† あまり	<u>き思う,30.</u> 思わない,		回答, 0.6%
くおい	しい食やき	れいな水1	こ恵まれて	いる>						
0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%
							+	- 	全く思わない, 3%	0.9%
			非常に思う。	65.1%				わない, 4.0%		集回答 <i>,</i> 0.3
<犯罪	や交通事故	などが少フ	ないなど、	安心して暮	事らすこと;	ができる>				
0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%
								」 あまり思わな	全く思わな い. 25.1%	il, 3.8%
Ĵ	非常に思 <b>う</b> , 22	.0%		やや思	思う, 48.8%			1		回答 <i>,</i> 0.4%
<通勤	」・通学や買	い物など	身近な交通	の便が良し	<i>v&gt;</i>					
0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%
				 あま	り思わない,4	2.3%		全く思わる	ない, 28.4%	
非一世	に思 <b>う</b> , 7.7%	やや思う,	21.2%							回答, 0.3%
が市し	-10.2) /1//0		21.370							
	的な祭りや			る>						
				aる> 40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%
<伝統	的な祭りや	伝統芸能力	が盛んであ		50%	60%	70%	80%		100%
<伝統	5的な祭りや 10%	伝統芸能力	が盛んであ 30%		50% やや思 <b>う</b> ,4			80% 」 わない, 13.8	90% 全く思わなし	100%
<伝統 0%	5的な祭りや 10%	P伝統芸能7 20% に思う, 37.39	が盛んであ 30%   %	40%	やや思う, 4	6.6%			90% 全く思わなし	100% ,`, 1.9%
<伝統 0%	int (10%) 10% 「 」 非常	P伝統芸能7 20% に思う, 37.39	が盛んであ 30%   %	40%	やや思う, 4	6.6%		わない, 13.8 80%	90% 全く思わない %	100% 、 <sup>1</sup> , 1.9% 回答, 0.5% 100%
<伝統 <sup>0%</sup> <近所	的な祭りや 10% - 非常 f付き合いが	と伝統芸能が 20% に思う, 37.39 よく、温が	が盛んであ 30% 。 かい人間関	40%	やや思う,4 こされてい	a6.6% る>	あまり思 70%	わない, 13.8 80%	90% 全く思わなし % <u></u> 無[	100% 、 <sup>1</sup> , 1.9% 回答, 0.5% 100%
<伝統 0% <近所 0%	的な祭りや 10% - 非常 f付き合いが	と伝統芸能が 20% に思う, 37.39 よく、温が	が盛んであ 30% 。 かい人間関	40% 「「」 「係が大切に 40%	やや思う,4 こされてい	a6.6% る>	あまり思	わない, 13.8 80%	90% 全く思わない % (用[ 90% 全く思わない	100% 、、1.9% 回答, 0.5% 100% , 9.0%
<伝統 0% <近所 0% 非常	的な祭りや 10% ポ常 げ付き合いが 10%	P伝統芸能 20% に思う, 37.39 らよく、温 20%	が盛んであ 30% 。 かい人間関 30% ・ やや思う,44	40% 1 1 (係が大切に 40% 1 4.8%	やや思う,4 こされてい	a6.6% る>	あまり思 70%	わない, 13.8 80%	90% 全く思わない % (用[ 90% 全く思わない	100% 、), 1.9% 回答, 0.5% 100% , 9.0%
<伝統 0% く近所 0% よう 非常 の%	tionな祭りや 10% #常 f付き合いが 10% に思う, 12.5% tic思も、知識	P伝統芸能 20% に思う, 37.39 らよく、温 20%	が盛んであ 30% 。 かい人間関 30% ・ やや思う,44	40% 1 1 (係が大切に 40% 1 4.8%	やや思う,4 こされてい	a6.6% る>	あまり思 70%	わない, 13.8 80%	90% 全く思わない % (用[ 90% 全く思わない	100% 、), 1.9% 回答, 0.5% 100% , 9.0%
<伝統 0% く近所 0% よう 非常 の%	的な祭りや 10% 第常 行き合いが 10% に思う, 12.5% 施設や娯楽	r 伝統芸能 に思う, 37.39 よく、温 20% 点 施設等がう	が盛んであ 30% 。 かい人間関 30% やや思う,44 充実してい 30%	40% 1 40% 40% 4.8% 4.8%	やや思う,4 こされてい 50%	6.6% 3> 60%	あまり思 70% あまり思わな 70%	わない, 13.8 80% えい, 33.5%	90% 全く思わない % - 無[ 90% 全く思わない 無 90%	100% 小,1.9% 回答,0.5% 100% ,9.0% 回答,0.3%
<伝統 0% く近所 0% 非常 彩 ( * *	tionな祭りや 10% #常 f付き合いが 10% に思う, 12.5% tic思も、知識	r 伝統芸能 に思う, 37.39 よく、温 20% 点 施設等がう	が盛んであ 30% 。 かい人間関 30% やや思う,44 充実してい 30%	40%    係が大切に 40%   4.8% - る> 40% 	やや思う,4 こされてい 50%	6.6% 3> 60%	あまり思 70% あまり思わな 70%	わない, 13.8 80% よい, 33.5% 80%	90% 全く思わない % (思わない) 全く思わない 無 90%	100% 、, 1.9% 回答, 0.5% 100% 回答, 0.3%
<伝統 0% く近所 0% ま常 業 0% 非常 業 () ・ ・ ・	tionな祭りや 10% ポ常 で付き合いが 10% に思う、12.5% た施設や娯楽	r 伝統芸能 に思う, 37.39 ぶよく、温 20% :施設等が3 20%	が盛んであ 30% らい人間関 30% やや思う,44 充実してい 30% あまり思れ	40%    係が大切に 40%   4.8% *る> 40% 	やや思う,4 こされてい 50%	6.6% 3> 60%	あまり思 70% あまり思わな 70%	わない, 13.8 80% よい, 33.5% 80%	90% 全く思わない % (思わない) 全く思わない 無 90%	100% 、,1.9% 回答,0.5% 100% 回答,0.3% 100%
<伝統 0%	e的な祭りや 10% ポ常 行き合いが 10% に思う、12.5% 施設や娯楽 に思う、2.5% や思う、11.6%	r 伝統芸能 に思う, 37.39 ぶよく、温 20% :施設等が3 20%	が盛んであ 30% らい人間関 30% やや思う,44 充実してい 30% あまり思れ	40%    係が大切に 40%   4.8% *る> 40% 	やや思う,4 こされてい 50%	6.6% 3> 60%	あまり思 70% あまり思わな 70%	わない, 13.8 80% よい, 33.5% 80%	90% 全く思わない % (思わない) 全く思わない 無 90%	100% 、, 1.9% 回答, 0.5% 100% 回答, 0.3%
<伝統 0%	tionな祭りや 10% 第常 行付き合いが 10% に思う,12.5% 施設や娯楽 に思う,2.5% や思う,11.6%	r 伝統芸能 20% に思う、37.39 らよく、温 20% 。 :施設等が 20% 。 個く場に『	が盛んであ 30% かい人間関 30% やや思う,44 充実してい 30% あまり思れ ままれてい 30%	40% 1 1 40% 40% 4.8% なる > 40% なる > 40% なる >	やや思う,4 こされていく 50% 50%	60%	あまり思 70% あまり思わな 70% 全く思 70%	わない, 13.8 80% よい, 33.5% 80%	90% 全く思わない % (思わない) 全く思わない 無 90% (%) 第冊[	100% 、1.9% 回答, 0.5% 100% 回答, 0.3%



青森県に対しては、「非常に思う」と「やや思う」を合わせると、9割以上の若者が「豊かな自然環境に恵まれている」と「おいしい食やきれいな水に恵まれている」というイメージを持っている。次いで、8割以上の若者が「伝統的な祭りや伝統芸能が盛んである」というイメージを持っている。

この結果は、平成24年度に実施された「郷土に関する意識に関する意識調査」においても、上位の3項目が一 致している。

# 問 15 あなたは、あなたと青森県との関係について、どのように感じていますか。それぞれの項目 についてお答えください。 (回答数/1,052)

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100% 」あてはまる, 6.7% あまりあてはまらない, 15.7% (無回答, 0.2%
どちらともいえない, 46.2%
ややあてはまる, 14.4% あてはまらない, 16.8%
<私はこの青森県の将来のことが、とても気になる>
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100% あまりあてはまらない 11.3% 無回答,0.2%
あまりあてはまらない, 11.3% 無回答, 0.2% どちらともいえない, 24.4%
あてはまる, 24.3% ややあてはまる, 31.6% あてはまる, 28.0%
<私はこの青森県に愛着を感じる>
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100% ややあてはまる、36.0% あまりあてはまらない、5.8% 無回答, 0.3%
ややあてはまる, 36.0% あまりあてはまらない, 5.8% 無回合, 0.3%
あてはまる, 33.6% どちらともいえない, 18.4% あてはまらない, 5.9%
<青森県を離れることは、たとえ離れたくても、大変困難であると感じる>
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%
あてはまる, 13.3% ちちともいえない, 29.9% どちらともいえない, 29.9%
ややあてはまる, 22.3% あてはまらない, 16.2%
<私が青森県にいるのは、そうしたいからと同時に必要と感じているからである>
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%
あてはまる,11.4% あまりあてはまらない,14.4% 無回答,0.39 どちらともいえない,35.1%
ややあてはまる, 25.7% あてはまらない, 13.2%

<私は青森県に必要な人材であると感じる>

青森県については、「あてはまる」と「ややあてはまる」を合わせると、約7割の若者が愛着を感じると回答 している。青森県の将来については、5割以上の若者がとても気になると回答している。3割程度の若者は、青森 県を離れることが大変困難であると感じており、青森県にいるのは必要と感じているからと回答している。

# 6 若者の人間関係について

# 問 16 あなたの家族や親せきを含めて、次のような相手がどのくらいいますか。(Oはそれぞれ 1 つずつ) (回答数/1,052)

<困ったときに相談に乗ってくれる人>

0%										
いない, 3	10% 3.2%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80% 6人から10人	90% , 13.0% <b>第</b>	100% 無回答, 0.49
1人	, 7.5%			2人から	5人, 70.7%				11 1 1	上, 5.1%
		=1 7 >							11/2	κ⊥, 5.1%
<個人的	りな悩みを	話せる人ン	>							
0% いない, 7	10% 7.4%	20%	30%	40%	50%	60%	70% 6	<sup>80%</sup> 人から10人, 7.:	1% 90%	100% 無回答, 0.79
	1人, 12	.6%			2人から5	人, 70.3%			11人	以上, 1.8%
			こ何かして							
	「惊を日相	して一相	こ何かして	NO/>						
0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70% د ل	80% から10人, 4.8%	90%	100% 28, 0.9%
							2人から5人			의 음, 0.9%
	, i	いない, 40.89	%	1.	人, 13.9%				11人	以上,4.6%
く地元て	で一緒に遊	ぶ人>								
0% _ いない,	10% 10.5%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90% ,無回	100% 回答, 0.6%
		201	2	2人から5人,	53.2%		6,	人から10人, 21.		
	1人, 5.	270							11人以上	1, 9.1%
く地元り	<b>↓</b> 外で一緒	iに遊ぶ人ン	>							
0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	<sup>80%</sup> 6人から10人,	90% 13.8% 無	
0%				40%	50% 2人から5,	60% , 44.7%	70%		13.8% #	回答, 0.7%
	いない, 25	5.7%	1人, 6.2%				70%		13.8% #	
	いない, 25	5.7%					70%		13.8% #	回答, 0.79
	いない, 25	5.7%	1人, 6.2%				70%		13.8% <b>第</b> 11人以 90%	回答, 0.79 上, 9.0% 100%
<何かに 0%	いない, 25 こついて、 10%	5.7% 自分に頼・ 20%	1人, 6.2% つてくれる. 30%	٨>	2人から5ノ 50%	, 44.7%	70%	6人から10人,	13.8% 無 11人以 7.0% 無	100% 转回答, 0.69
<何かに 0% いない	いない, 25 こついて、 10% , 16.2%	5.7% 自分に頼・ 20% 1人, 11.9	1人, 6.2% つてくれる. 30%	人> 40%	2人から5 <i>,</i> 50% 2人が	60%	70%	6人から10人,	13.8% 無 11人以 7.0% 無	回答, 0.79 上, 9.0% 100%
<何かに 0% いない	いない, 25 こついて、 10% , 16.2%	5.7% 自分に頼・ 20% 1人, 11.9	1人, 6.2% つてくれる. 30%	人> 40%	2人から5 <i>,</i> 50% 2人が	60%	70%	6人から10人,	13.8% 無 11人以 7.0% 無	回答, 0.79 上, 9.0% 100% E回答, 0.6
<何かに 0% いない	いない, 25 こついて、 10% , 16.2%	5.7% 自分に頼・ 20% 1人, 11.9	1人, 6.2% つてくれる. 30%	人> 40%	2人から5 <i>,</i> 50% 2人が	60%	70%	6人から10人,	13.8% 無 11人以 7.0% 第 11人	回答, 0.79 上, 9.0% 100% 和何答, 0.69 以上, 3.0%
<何かに 0% いない く特に新	いない, 25 こついて、 10% , 16.2% えしくはな	5.7% 自分に頼- 20% 1人,11.9 にいが、一緒 20%	1人,6.2% ってくれる. 30% * * * 者に仕事や?	人> 40% 活動をする 40%	2人から5, 50% 2人か 50% 2人が 50%	<, 44.7% 60% いら5人, 61.3' 60%	70%	6人から10人, 80% 6人から10人,	13.8% 無 11人以 7.0% 余 11人 90% 年 11人	回答, 0.79 上, 9.0% 100% E回答, 0.69

若者の人間関係については、「困ったときに相談にのってくれる人」や「個人的な悩みを話せる人」は、7割以上の若者が2人から5人いると回答している。「同じ目標を目指して一緒に何かしている人」については、4割以上の若者がいないと回答している。

# 問17 次のような場所に住んでいる友人や知人は、家族や親戚を含めてどのくらいいますか。(O はそれぞれ1つずつ) (回答数/1,052)

<徒歩で10分以内のところに住んでいる人>

0%	10%	20% I I I I I	30%	40% 1人, 11.3%	50%	60% 2人から	70% 」 5人, 38.4%	80% 6人から10.	90% 人,8.4% 無回 11人以上	
<徒歩	で 10 分より	りかかるが	、同じ市町	村に住ん <sup>.</sup>	でいる人>					
0% いない	10% 9.7% 1人, 5.19		30% 人から5人, 34	40%     	50% 6人か	60% ら10人, 18.	70%	80%   11人以上, 3		100% 答, 1,0%
<同じ	市町村では	ないが、県	県内に住んて	ごいる人>	•					
0%	10% , 14.4% 1	20% 人, 5.2%	30% 2人から5人, 2	40% 26.6%	50% 6人から1	60%   0人, 18.2%	70%	80%   11人以上, 34		100% 答, 1.2%
く青森	県外の東北	地域に住ん	「でいる人>	>						
0%	10%	20%	30% 1人, 6.7%	40%	50% 人から5人, 33	60%	70% 6人から10ノ		90% _ <mark>用回答</mark> 人以上, 17.89	
<関東	地方に住ん	でいる人>	>							
0%	10%	20% 1人, 7.99	30%	40% 2人から5	50% 人, 38.6%	60%	70% 人から10人, :		90% 無回客 以上, 20.0%	100% \$,0.8%

徒歩で10分以内のところに住んでいる友人や知人の数は、2人から5人が最も多く38.4%であった。同じ市町 村に住んでいる友人や知人の数は、2人から5人が最も多く34.7%であった。県内に住んでいる友人や知人の数 は、11人以上が最も多く34.4%であった。青森県以外の東北地域に住んでいる友人や知人の数は、2人から5人 が最も多く33.7%であった。関東地方に住んでいる友人や知人の数は、2人から5人が最も多く38.6%であった。

# 問 18 あなたは、他の人との関係について、以下のことはあなたご自身にどれくらい当てはまりま すか。(Oはそれぞれ1つずつ) (回答数/1,052)

0%		20% 」 まる, 40.4%	30%	40%	50%	60%	70% 80% 90% 100% あまりあてはまらない,9.9% 無回答,0.7% どちらともいえない,17.7% あてはまらない,0.0%
	の気持ちを		まく伝えら		M (1470)	51.4%	25520112411,11.1% (1445)40,00%
	5 C 10 X 10 Z		ж \ 14 Л О	100/			
0% あてはま	10% ミる, 7.2%	20%	30%	40%	50%	60%	70% 80% 90% 100% あまりあてはまらない, 16.2% 無回答, 0.7%
					どちら	らともいえれ	ない, 43.7%
	*	やあてはま	る, 32.2%				あてはまらない, 0.0%
<相手	の言いたい	ことは察る	することが	できる>			
0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70% 80% 90% 100%
							あまりあてはまらない,2.7% ――――――――――――――――――――――――――――――――――――
đ	ってはまる, 20	.5%	や	やあてはまる	3, 57.1%	ځ	ちらともいえない, 19.2% あてはまらない, 0.0%
<人に	嫌われない	かといつ	も心配して	いる>			
0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70% 80% 90% 100%
							あまりあてはまらない,8.5% 無回答,0.7%
		_		16 16 40			どちらともいえない, 25.8%
	あてはまる	, 29.2%		ややめて	はまる, 35.99	%	あてはまらない, 0.0%
<自分	の意見が他	の人に賛成	成してもら	えないとす	「安になる	>	
0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70% 80% 90% 100%
							あまりあてはまらない,9.2% 無回答,0.7%
	てはまる, 20.	0%	ややお	あてはまる, 4	0.8%		どちらともいえない, 29.4% あてはまらない, 0.0%

他の人との関係について、「知らない人がたくさんいる場所は苦手だ」に対し、7割以上の若者が苦手だと感じ ている。「相手の言いたいことは察することができる」に対し、7割以上の若者があてはまると回答している。「人 に嫌われないかといつも心配している」や「自分の意見が他の人に賛成してもらえないと不安になる」に対し、6 割以上の若者があてはまると回答している。「自分の気持ちをうまく伝えられる」に対しては、約4割の若者が あてはまると回答している。

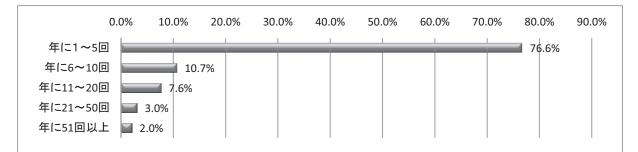
# 7 若者の社会参加活動について

問 19 あなたは、現在も含めて、この1年間にボランティアや地域活動・社会貢献活動などをしましたか。いずれかに〇をつけてください。(回答数/1,052)

0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90% 100% 無回答, 0.5%
	した, 18.7%				しな	かった, 80.8	%		

問 19-① 問 19 で「1 した」と回答した方にお聞きします。あなたは、この1年間にどのくらい ボランティアや地域活動・社会貢献活動をしましたか。次の口にあてはまる数字を記入してくだ さい。(回答数/197)

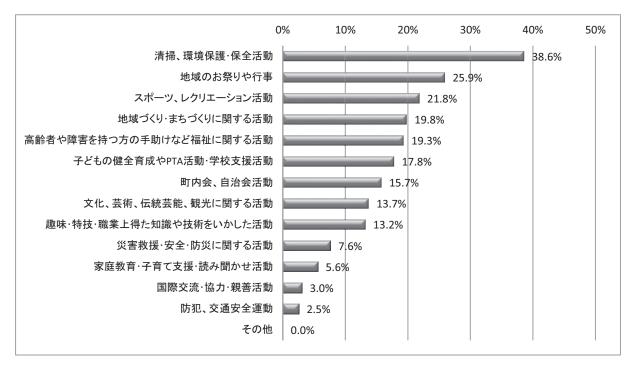
<年間の回数>



<一回の活動時間>

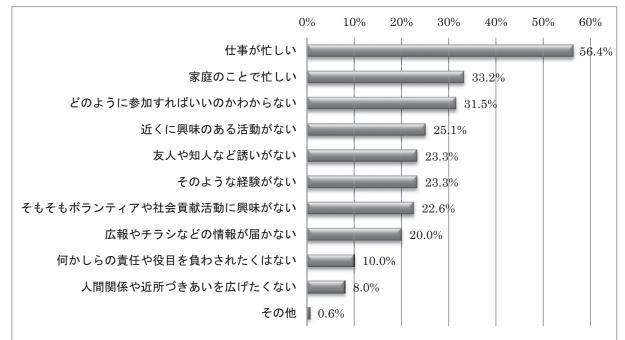
0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%
30分月	<b>卡満, 6.1%</b>							6~10時間,	13.7%	<u> 無回答, 1</u> .5%
					1~5時間,6	5.5%		_		
	1時間未満,	12.7%							10時間	以上, 0.5%

<活動内容>

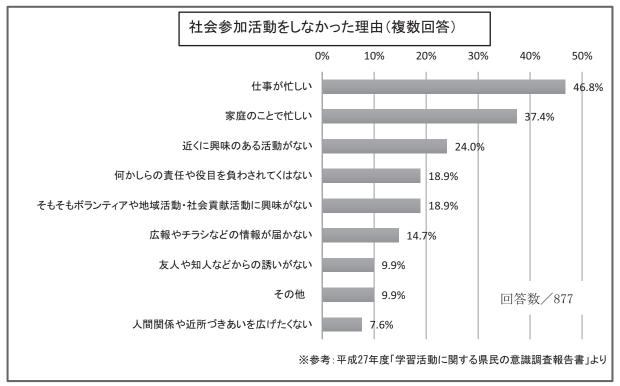


全体の2割近くの若者が、この1年間にボランティアや地域活動・社会貢献活動を行ったことがある。活動時間 については、1回あたり1時間から5時間までが最も多く、65.5%であった。活動内容は「清掃、環境保護・保全 活動」が最も多く38.6%、次いで「地域のお祭りや行事」が25.9%であった。

問 20 問 19 で「2 しなかった」と回答した方にお聞きします。しなかった理由について、次の中か らあてはまるものすべてに〇をつけてください。(回答数/850)



社会参加活動をしなかった理由として、「仕事が忙しい」が最も多く 56.4%で、昨年度実施した「学習活動に 関する県民の意識調査報告書」(下記参照)と比較すると約 10 ポイントの差がある。特に注目したいのは、今回 の調査で新たに「どのように参加すればいいのかわからない」という項目を加えたところ、全体の 31.5%がどのよ うに参加すればいいのかわからないと回答していることである。また、「そのような経験がない」が 23.3%、「近 くに興味のある活動がない」が 25.1%となっていることから、若者がボランティアや地域活動・社会貢献活動に 対し興味関心を示していることが窺える。



#### 回答者の属性(職業、家庭環境) 8

問 21 あなたは、現在学校へ行っていますか。次の中から1つだけ選んでください。

									回答数/1	, 052		
0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%		
学校イ	、行っている	(在学中),14	.8%					学校は	中退した, 2.9	9%		
	学校は卒業した(既卒), 80.9%											
	学校に在	主籍している:	が、休学して	いる, 0.4%		l			無回	回答, 1.0%		

在学中の回答者は、休学を含めて全体の15.2%、既卒者は全体の80.9%である。

## 問 22 あなたは、現在、家業の手伝いやアルバイトを含めて、何か収入になる仕事をしていますか。 いずれかに〇をつけてください。 回答数 /1 052

										1,002
0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%
									無回	回答, 0.9%
I	I	I		ている, 79.0%			I	して	いない, 20.2	%

#### 問 22-① 問 22 で「1 している」と回答した方へお聞きします。どのように仕事をしていますか。 いずれかに〇をつけてください。 回答数 /1 052

								¤		, 002
0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%
					家事、通学り	い外のことが	主で仕事をし	ている。, 1.8%	6	無回答, 0.5%
			仕事	を主にしてい	<b>いる, 83.6%</b>					
				家事が主て	で仕事をしてし	いる, 6.3% ー	学校日	ニ通いながら(	ーーーー ±事をしてし	いる, 8.2%

# 問 22-② 問 22 で「2 していない」と回答した方へお聞きします。次の中からあてはまるものを

## 1つだけ選んでください。

0%

回答数/1,052 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100% | その他, 2.8% 主に家事をしている, 32.1% 主に学校に通っている,44.3% 失業中である, 20.3%

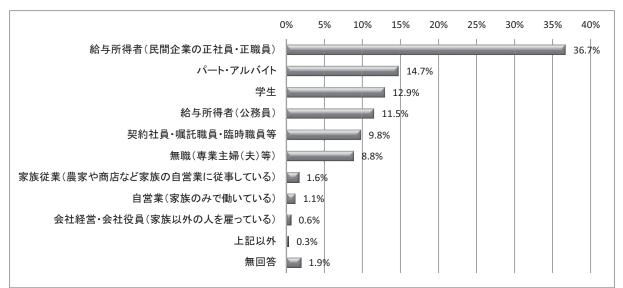
無回答, 0.5%

「その他の記述」・病気のため ・保育園がなく、仕事ができない ・育休中(2名) ・子育て中 ・産休中・ 子供を産んだばかりで育児に専念している ・育児をする人が家族の中で自分だけだから ・高卒をとる会社が多 ・施設に行っている ・休職中 ・未記入(2名) い

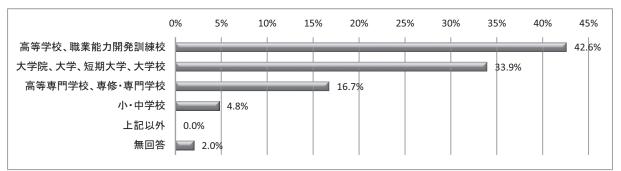
現在収入になる仕事をしているのは全体の79.0%、仕事をしていないのは全体の20.2%である。どのように仕 事をしているかについては、「仕事を主にしている」が83.6%、次いで「学校に通いながら仕事をしている」が 8.2%であった。仕事していない理由については、「主に学校に通っている」が44.3%、次いで「主に家事をして いる」が 32.1%であった。

問 23 あなたのご職業とお仕事の内容、最後に卒業した学校(現在学校に通っている方は、在学中の学校)を教えてください。(アルバイトなどを含む)(回答数/1,052)

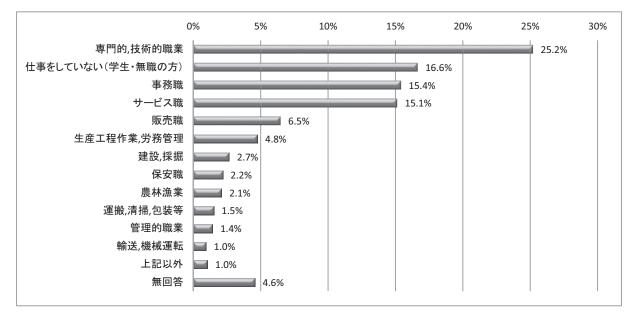
く職業>



<最後に卒業した学校>



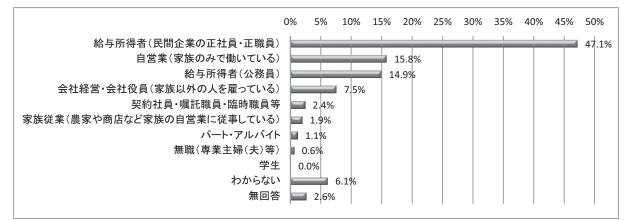
<仕事の内容>



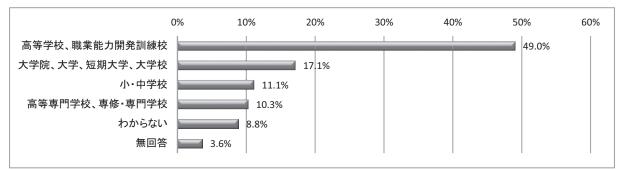
職業については「給与所得者(民間企業)」が最も多く 36.7%、最終学歴は「高等学校、職業能力開発訓練校」 が最も多く 42.6%、仕事の内容では「専門的、技術的職業」が最も多く 25.2%であった。 問 24 あなたのご両親が長く勤められていたご職業と仕事の内容、ご両親の最終学歴について教え

てください。(回答数/1,052)

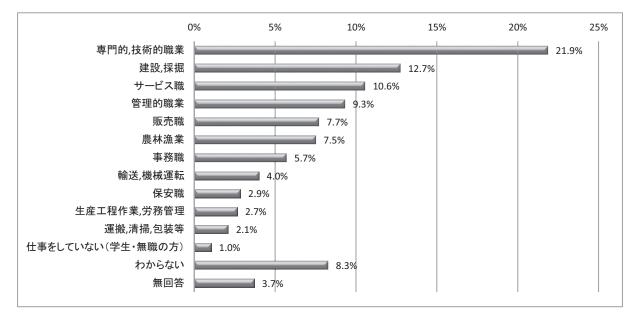
<父親の職業>



< 父親の最終学歴>

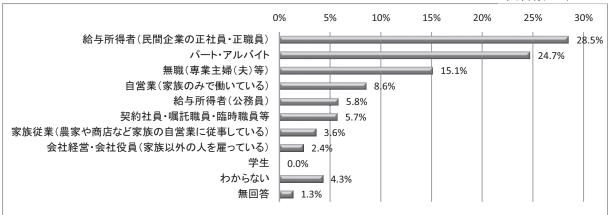


< 父親の仕事の内容>

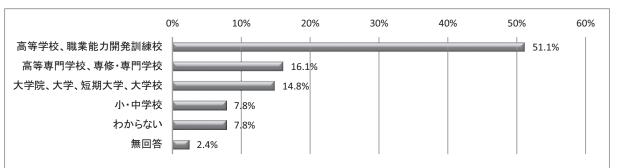


父親の職業については「給与所得者(民間企業)」が最も多く 47.1%、次いで「自営業」が 15.8%であった。 最終学歴は「高等学校、職業能力開発訓練校」が最も多く 49.0%、次いで「大学院、大学、短期大学、大学校」 が 17.1%であった。仕事の内容では「専門的、技術的職業」が最も多く 21.9%であった。次いで「建設、採掘」 が 12.7%であった。 <母親の職業>

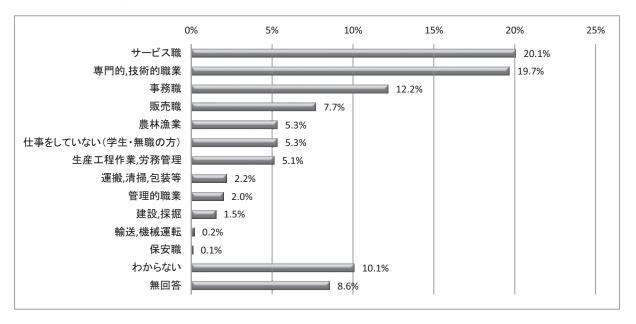
回答数/1.052



<母親の最終学歴>



<母親の仕事の内容>



母親の職業については「給与所得者(民間企業)」が最も多く28.5%、次いで「パート・アルバイト」が24.7% であった。最終学歴は「高等学校、職業能力開発訓練校」が最も多く51.1%、次いで「高等専門学校、専修・専 門学校」が16.1%であった。仕事の内容では「サービス職」が最も多く20.1%であった。次いで「専門的、技術 的職業」が19.7%であった。

# 問 25 あなたが 18 歳のときの家庭の経済状況について、あてはまるものを次の中から1つだけ選ん でください。

回答数/1,052

0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%
										]答, 0.5%
	経済	斉的にまあま	こあゆとりがさ	あった, 47.5%		経済的に苦	しいようだっ	tz , 35.1%		
経済的に		/ があった.5.:	1%			経済	を的にかなり	」	t 11.8%	

「経済的にかなりゆとりがあった」と「経済的にまあまあゆとりがあった」を合わせると、全体の 52.6%がゆ とりがあったと回答している。

# 問 26 現在、あなたはどの程度幸せですか。「とても幸せ」を 10 点、「とても不幸」を 0 点とする と、何点くらいになると思いますか。いずれかの数字を選んで〇をつけてください。

									回答数/	1, 052
0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%
10点(	とても幸せ), 12	.0%					4点,	7.2% 0点	(とても不幸	), 1.8%
		8	点, 19.0%	7,	点, 17.9%	6点, 9.8%	5点,	14. 4%		
	/ 9点, 8	. 3%					3	点,5.5% — 2点,	2.5%1	点/0.8% 答,0.9%

幸福度については、「8点」が最も多く19.0%、次いで「7点」が17.9%であった。6点から10点までの割合 を合わせると、全体の67%が幸せと回答している。若者の3人に2人は幸せと感じている。

# 問27 現在アルバイトを含めて仕事をしている人に聞きます。次のようなことに満足していますか、 不満ですか。それぞれの項目についてお答えください。(回答数/1,052)

# <a. 総合的に>

満足, 8.8% 不満, 5. <b>まあ満足, 39.8% どちらともいえない, 28.8% やや不満, 14.3</b> %	0% 1	0% 20	0% 30	0% 40	% 50%	60	% 70	0% 80	90%	
まあ満足, 39.8% どちらともいえない, 28.8% やや不満, 14.3%	満足, 8.8%									不満, 5.4%
		t				どちらと	ともいえない	, 28.8%	やや不満, 14	1.3%

<b. 収入>

満足, 8.5%	
まあ満足, 29.6% 「「「」」、 やや不満, 23.5% 「「」」、 不満, 1	.%

< c. やりがい>

0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%
		.							不济	苘 <i>,</i> 6.6%
満	足, 15.6%	1	まあ満足	, 36.5%		どちらとも	いえない, 27	.1%		
								ややさ	不満, 11.7%	

### < d. 労働時間>

0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%
	<b>嵩足</b> , 15.5%		まあ満足。	32.6%	۲t	らともいえな	L). 24.8%	やや不満,1		9.6%
			0-03/11/2)							

< e. 福利厚生>

0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%
									不清	<b>苟, 7.2%</b>
100	満足, 19.6%		まあ満	足, 32.4%		どちらとも	いえない, 27	.6%		
								ややろ	「満, 10.7%	

#### <f. 自宅と勤務地の距離>

0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%
							どちらともし	vえない, 15.99	% া শ	「満,4.8%
2	満	足, 34.7%			まあ満足,3	2.0%				
								やせ	•不満,10.0	%

## <g. 仕事と生活のバランス>

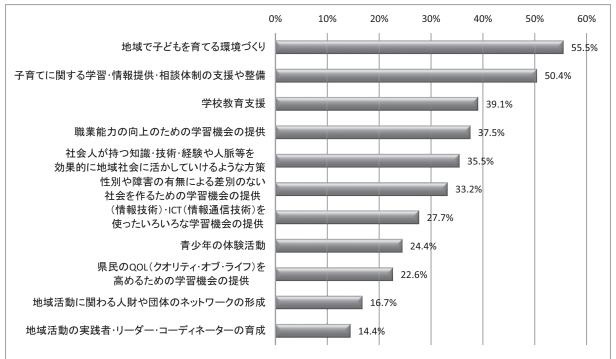
0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%
一世	足, 13.8%		まあ満足.33	00/	kt i	し	> 22 70/	やや不満,17		, 8.4%
2000	AE, 13.8%		0-00 MM AE, 53	0.070	C 35		•, 23.1%	(° (° ) / ////, 1/	.0%	

仕事の満足度については、「満足」と「まあ満足」を合わせると、総合的に全体の 48.6%は満足していると回答している。「収入」については、全体の 38.1%が満足している。「やりがい」については、全体の 52.1%が満足している。「営働時間」については、全体の 48.1%が満足している。「福利厚生」については、全体の 52.0%が満足している。「自宅と勤務地の距離」については、全体の 66.7%が満足しており最も多い割合であった。「仕事と生活のバランス」については、全体の 47.6%が満足している。

「やや不満」と「不満」を合わせると、最も多いのが「収入」で全体の 39.6%が不満と感じている。次いで「仕事と生活のバランス」で全体の 26.2%が不満と感じている。

問 28 あなたは、県の教育委員会が、県民の生涯学習・社会教育を進める上で、今後どのようなこと に力を入れたらよいと思いますか。あてはまるものすべてに〇をつけてください。





「地域で子どもを育てる環境づくり」、「子育てに関する学習・情報提供・相談体制の支援や整備」に全体の 5割以上が力を入れてほしいと望んでいる。平成27年度「学習活動に関する県民の意識調査報告書」のデータを 見ると、「地域全体で子どもを育む活動の充実」が全体の41.2%、「子育てや家庭教育支援の充実」が全体の41.8% であるので、県内の若年層は子育てや家庭教育支援を強く望んでいることが窺える。

